

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	長瀬東・B田地建替事業	階数	地上6F地下0F
建設地	大阪府東大阪市近江堂三丁目	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域 準防火	平均居住人員	194 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年6月4日
敷地面積	3,997 m ²	作成者	泉 義和
建築面積	1,042 m ²	確認日	2020年6月8日
延床面積	4,194 m ²	確認者	大井理恵



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%

② 建築物の取組み: 79%

③ 上記+②以外の: 79%

④ 上記+: 79%

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

音環境	3.0
温熱環境	3.7
光・視環境	3.9
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

機能性	2.6
耐用性	3.0
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

水資源	2.2
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.8
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。 仕上材料については、化学物質放出量の少ないものを使用している。 主要設備配管は耐用年数が高い材料を使用している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	仕上材料についてはF☆☆☆☆を使用するとともに、ホルムアルデヒド以外のVOCについても放出量が少ない建材を使用している。	Q2 サービス性能 耐候性、耐久性、防汚性に優れた内外装材を使用している。
Q3 室外環境(敷地内)	地域貢献に寄与する外部空間を形成している。 集会所及び隣接するパサージュを設け、内外を連関させる中間領域を形成している。	
LR1 エネルギー	断熱性能の高い外壁構成としている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材を使用している。 有害物質を含まない材料を使用している。
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を、一般的な建物に対して低く抑えている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0039

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	長瀬東・B団地建替事業建設工事					
		建設地	大阪府東大阪市近江堂三丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					4		
④	エネルギー削減					5		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.8	4		
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.0	4		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			5.0	5		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								